

[記入例]

 の中はすべて記入してください。

別記様式第一 (整理番号 令和5年第 号)

被害回復給付金支給申請書

横浜地方検察庁 検察官 殿 令和〇〇年〇〇月△△日

申請人 フリガナ **ヨコハマ タロウ** ④

氏名又は名称 **横浜太郎**

生年月日 **昭和〇〇年〇〇月〇〇日(〇〇歳)**

住所 **(〒231-0021) 横浜市中区日本大通9**

〔電話番号又シ号 フリガナ (自 宅 番) 045-211-7629 (FAX) 045-211-7665〕

代表者又は管理人
フリガナ
氏名
生年月日(〒 -)年 月 日(歳)
住所
〔電話番号又シ号 フリガナ 二 二〕

代理人
フリガナ
氏名又は名称 ④
〔法定代理人又は弁護士〕
生年月日(〒 -)年 月 日(歳)
住所(所在地)(〒 -)
〔電話番号又シ号 フリガナ 二 二〕

次のとおり被害回復給付金の支給を申請します。

被害者	被害にあった者は	<input checked="" type="checkbox"/>	申請人(被害者欄の下記事項についての記入は不要です。)
		<input type="checkbox"/>	その他の者(被害者欄の下記事項につき記入してください。)
	フリガナ 氏名又は名称		
	生年月日	年 月 日(歳)	
	住所	(〒 -)	
一般承継人	一般承継の理由及びその年月日	平成〇〇年〇月〇〇日 横浜二郎 逝去 により承継した。	
	被害者との関係		
	支給手続番号	横浜地方検察庁 令和5年 2 号	
	被害にあわれた年月日時	別紙のとおり	
	被害にあわれた場所	別紙のとおり	
	犯人の名前又は団体名	別紙のとおり	

(用紙 日本産業規格A4)

申請書作成日を記入。

○申請人記入欄

被害にあった本人・法人・団体又はその一般承継人が記入(自署)・押印してください。
※「一般承継人」とは、被害者本人から、その財産などを相続された方などのことを言います。
★添付書類必要
「添付書類確認シート」
①を確認してください。

○代理人記入欄

被害者が未成年の場合などに、その親=法定代理人が手続を代理することもできます。
また、代理人を弁護士に委任することもできます(弁護士費用はご負担ください)。

⇩ 申請される方が

- ※「被害者本人」の場合 「申請人」に✓
- ※「一般承継人」の場合 「その他の者」に✓
- ※「代理人」の場合 「申請人」に✓

〔一般承継人の方のみ記入してください。〕

○被害状況記入欄

被害状況を詳細に記入していただく必要があるため、被害状況を同封の「被害状況別紙」に記入し、この申請書とともに提出してください。
★添付書類必要
「添付書類確認シート」
②を確認してください。

法人又は団体の場合、その名称、住所、電話番号を記入し、社判・団体印を押印してください。

申請人が法人又は団体の場合に代表者又は管理人の氏名・住所等を記入してください

代理人が弁護士であるときは、その氏名、事務所の名称・所在地のほか、氏名欄に「登録番号」も記入してください。

すべての方がどちらかに必ず✓してください。

裏面へ続きます

申請期限 令和6年1月17日(水)

被害にあわれた状況		別紙のとおり	
支給を受けようとする金額	犯罪行為により失われた財産の価額 (価額算定の根拠)	250,000 円	
	控除対象合計額 (内 訳)	0 円	
	てん補又は賠償を受けた年月日	てん補又は賠償をした者の氏名又は名称 (犯人との関係)	てん補又は賠償を受けた者の氏名又は名称 (被害者等との関係)
年 月 日	() ()	() ()	円
年 月 日	() ()	() ()	円
<input checked="" type="checkbox"/> 合意はない <input type="checkbox"/> 以下の合意がある			
支給を受けるべき被害回復給付金の額の割合についてその内容	施行規則第8条第1項第8号に定める他の申請人等の氏名又は名称及び住所等	フリガナ 氏名又は名称 住 所 (〒) (電話番号又はファクシミリ番号)	
合意の内容			
払渡しを受ける機関その他のその払渡しを受けるために必要な事項	預金口座	フリガナ ヨコハマ タロウ 氏 名 横 浜 太 郎 (法人の名称) 住(居)所等 横浜市中区日本大通9	
	金融機関	〇 〇 銀行 金庫 信用組合 協同組合 本店(所) 支店(所) 出張所	
	預金種別	1. 普通預金 2. 当座預金	
	郵便局	通帳記号 通帳番号	
	その他の必要な事項		

○犯罪行為により失われた財産の価額記入欄

「被害状況別紙」で算出した「支払金額」の合計額を記入してください。
 ★添付書類必要
 「添付書類確認シート」③を確認してください。

○てん補又は賠償関係記入欄

犯人又はその弁護人などから、被害額のてん補又は賠償を受けていない場合は「控除対象合計額」欄に「0」と記入してください。

被害額のてん補又は賠償がされた場合は内訳を記入し「控除対象合計額」欄にその合計額を記入してください。

★添付書類必要
 「添付書類確認シート」④を確認してください。

※「てん補又は賠償」とは、犯人側から被害者側に対し、損害補填・示談・賠償金などの名目で支払われた金銭のことです。

○給付金額の割合に関する合意の有無

ほかの被害者(申請人)との間で、給付金の支給を受けることとなった場合の支給割合について、何も合意をしていない場合は「合意はない」に✓してください。その場合、次欄は記入不要です。

何らかの合意がある場合のみ「以下の合意がある」に✓し、その内容を次欄に記入してください。

★添付書類必要
 「添付書類確認シート」⑤を確認してください。

○被害回復給付金の振込先口座記入欄

この口座は、申請人本人名義のものに限ります。記入した口座の通帳又はキャッシュカードの写しが必要です。ネット銀行不可。

★添付書類必要
 「添付書類確認シート」⑥を確認してください。

口座が開設できないなど、やむを得ない事情がある場合に記入する欄です。

申請書は、記入例をよくお読みの上ご記入し、必要な書類を添付して申請してください。添付書類については、同封の「添付書類確認シート」で必ずご確認願います。

注意 申請書又は添付書類に虚偽の記載をして提出した者は、50万円以下の罰金に処することとされています。